

背景・現状

- ▶ 中国をはじめとするアジア地域の急激な経済成長
- ▶ アジア地域は世界における生産拠点、消費市場としてさらに発展
- ▶ 我が国とアジア地域の経済交流はますます拡大、相互依存関係の深まり
- ▶ 近年の景気回復等に伴う産業立地の国内回帰、物流の高度化等の動き
- ▶ 中国等の旺盛な需要等による原油価格の上昇

港湾を取り巻く状況

長期政策策定に当たっての主な視点と課題・論点

港湾の整備、管理、運営及び利活用のあり方

アジア諸国の大規模港湾整備

アジア主要港と比較して割高なコスト、長いリードタイム

海外トランシップ率の増加

コンテナ船の大型化等による効率化された海上輸送体系の進展
→ 超大型船の出現
寄港地集約の動き

欧米航路とアジア航路の重層化

対アジアコンテナ航路網の拡大
・航路数、寄港地数の増加

対欧米貨物に対し、三大都市圏以外の地域の生産消費量(割合)が比較的大きい対アジア貨物

ホットデリバリーサービス、高速国際一貫輸送サービスの提供

国際的な保安体制等強化の動き

バルク輸送の効率化の進展
・船舶の大型化 等

中古自動車や金属くず等の循環資源の取扱量の増加

臨海部の製造業の立地動向の変化
・加工組立型が増加

都市の臨海部の土地需要の高まり
・産業、物流、都市再開発

地方の臨海部の活力の低下

アジア主要港を凌ぐコスト・サービス水準の実現

先導的な施策を展開し総合的に効率化を推進する「スーパー中核港湾政策」の充実・深化

スピーディーでシームレスかつ低廉なアジア物流ネットワークの実現

サプライチェーンマネジメントへの支援、ジャストインタイムの要請への対応 等

基幹産業を支える貨物の安定的かつ低廉な輸送の確保

臨海部における物流・産業の活性化及び立地の促進

次世代高規格コンテナターミナルの形成

埠頭公社の民営化の推進

メガオペレーターの育成

コンテナ輸送用トラックの渋滞対策

内航フィーダー輸送の活性化、利用促進

港湾と鉄道貨物駅、空港、物流拠点等との間のアクセス強化

港湾の利用・連携の促進

港湾関係諸手続の簡素化、情報化

電子タグの活用等による円滑な物流の確保と保安対策の強化

物流の効率化と環境への配慮

港湾や航路における安全と海上輸送の信頼性の確保

既存施設の機能更新、再配置等による効率性の確保

循環資源物流ネットワークの形成

臨海部における物流産業空間の形成

既存の産業集積地との連携

観光等交流拠点の形成